

マイクロレデンシャルの展望に向けた オープンバッジの課題

「話題提供」
です!

人間環境大学 総合環境学部 学部長／教授
早稲田大学 名誉教授

深澤 良彰

y-fukazawa@uhe.ac.jp

2025年11月26日

昔々...

- 私の研究室には、毎年1名位、企業からの社会人修士課程学生が来ていました
- それが、ある頃からバツタリ...



。。。企業の関係者に聞いてみると...

「小心者」
ですので...

- 企業に余裕がなくなった
 - 修士課程2年間は長い／重い
- 対象者(学部卒、高専出身者等)が少なくなった
- 「新しい技術を学ばせよう」というニーズはある



マイクロレデンシャルへの
潜在的ニーズは大きい

しかし...

特に、今の日本で...



『マイクロレデンシャル』への潜在的ニーズは大きい？

『マイクロレデンシャル』って何？

答その壺：マイクロな【学位】

答その貳：「学歴」より「学修歴」を…
その集大成

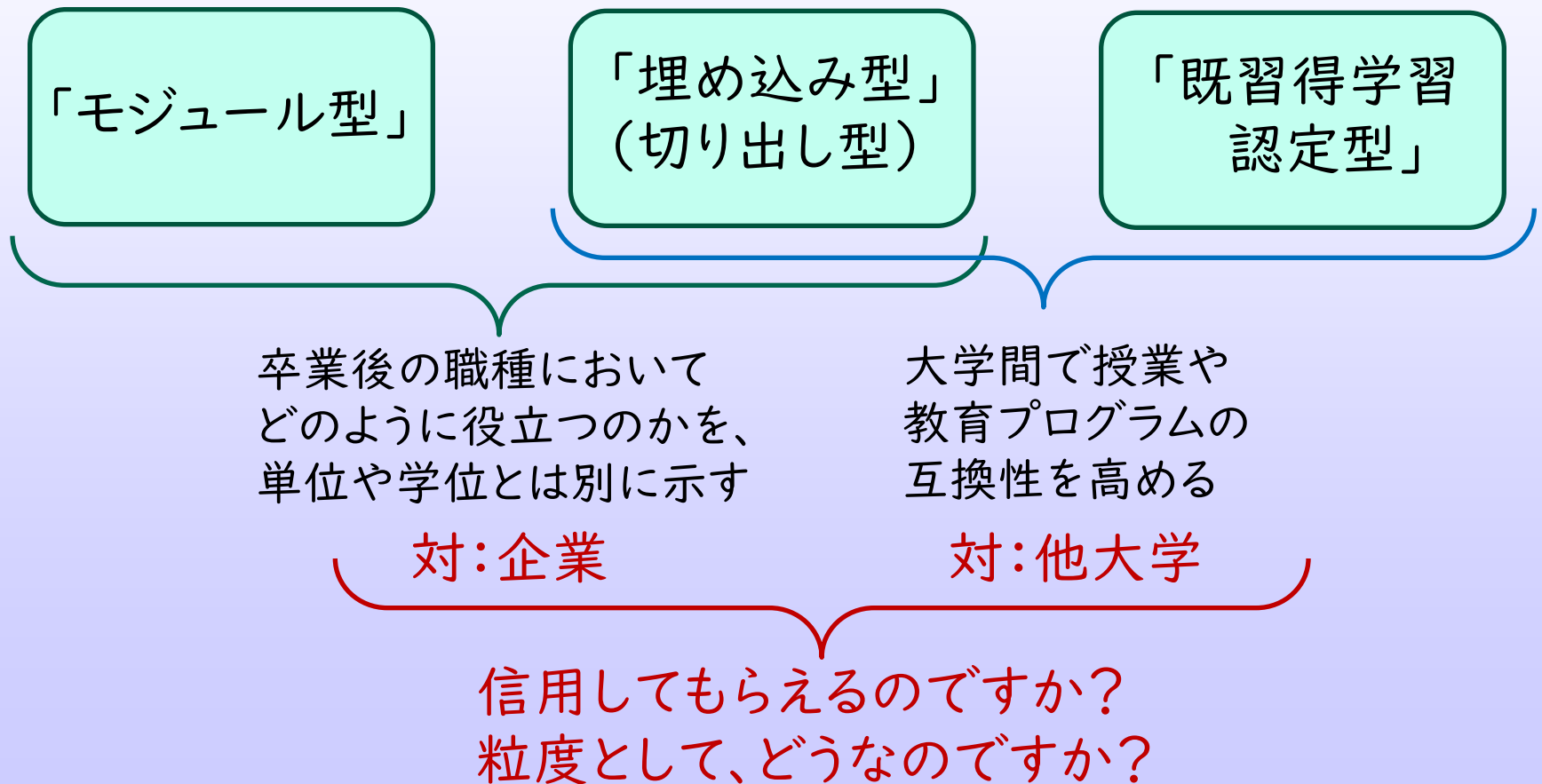
答その参：上記以外



定義によって、問題点は異なる
(いずれにしても、問題点が…)

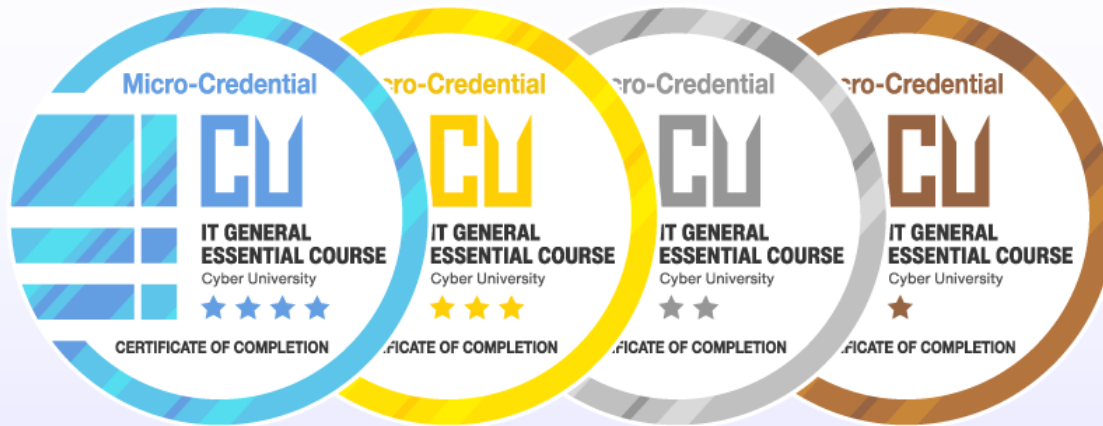
マイクロクレデンシャル＝マイクロな【学位】

- 【学位】というからには、教育機関（たとえば、大学）が発行
- マイクロクレデンシャルと学位を組み合わせる3種類のパターン（By OECD）



マイクロクレデンシャルの例

- サイバー大学（モジュール型）



- 一般社団法人日本マイクロクレデンシャル機構（2025年11月）
<https://micro-credential-jwg.org/document/>
 - ・マイクロクレデンシャルに関するフレームワーク_ver.1.0 (PDF)
 - ・マイクロクレデンシャルをデジタル発行するためのガイドライン3.0 (OpenBadge3.0仕様準拠) (PDF)
 - ・マイクロクレデンシャルをデジタル発行するためのガイドライン1.1 (OpenBadge2.0仕様準拠) (PDF)
 - ・Guideline for issuing micro-credentials digitally 3.0
 - ・Guideline for issuing micro-credentials digitally 1.1
 - ・マイクロクレデンシャルのフレームワークとガイドラインQA集 (PDF)
 - ・マイクロクレデンシャルのフレームワークとガイドラインQA集No.2 (PDF)

マイクロな【学位】としての疑問

今の日本の企業や大学に!

- 信用してもらえるのですか?
- 信用してもらうには、『裏付け』が必要
 - エビデンス(evidence): 学習の成果やプロセスの記録
 - 学習管理システム(LMS)上に蓄積
 - オープンバッジからのリンクで大丈夫?
 - 持続性は?
 - オープンバッジで証明
 - 理解できる?
 - エンドースメント(endorsement): 第三者による評価や保証
 - 外部質保証
 - 7年に1回の機関認証で本当に良い?
 - 誰が保証?
- 粒度として、どうなのですか?
- 結局、科目ごとになりませんか?
 - マイクロクレデンシャルとしての価値は?

マイクロレデンシャル＝「学修歴」の集大成

- 新しい技術を学ぶのは、最近では、大学だけではない
- 学習資源の多様化
 - 企業が提供するリスキリング、デジタル人材育成講座
 - MOOC講座
 - 多種多様なWebコンテンツ
 - 生成AI
 - 参考書
- やはり問題になるのは、
 - エビデンスとエンドースメント+体系性のエンドースメント
 - 統一的なLMSは存在しない

『マイクロレデンシャル』への潜在的ニーズは大きい？

『マイクロレデンシャル』って何？

答その壺：マイクロな【学位】

答その貳：「学歴」より「学修歴」を…
その集大成

答その参：上記以外

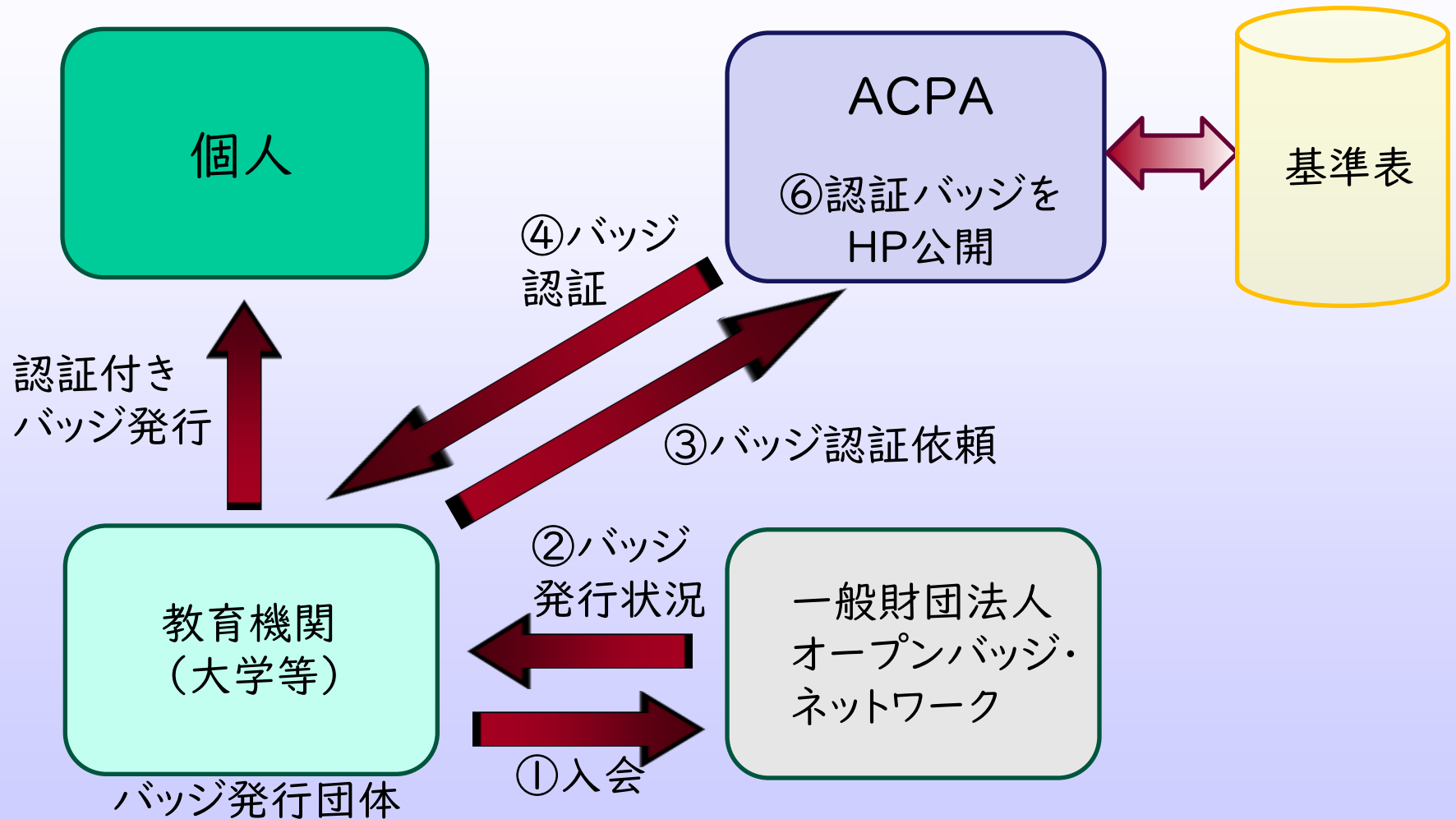


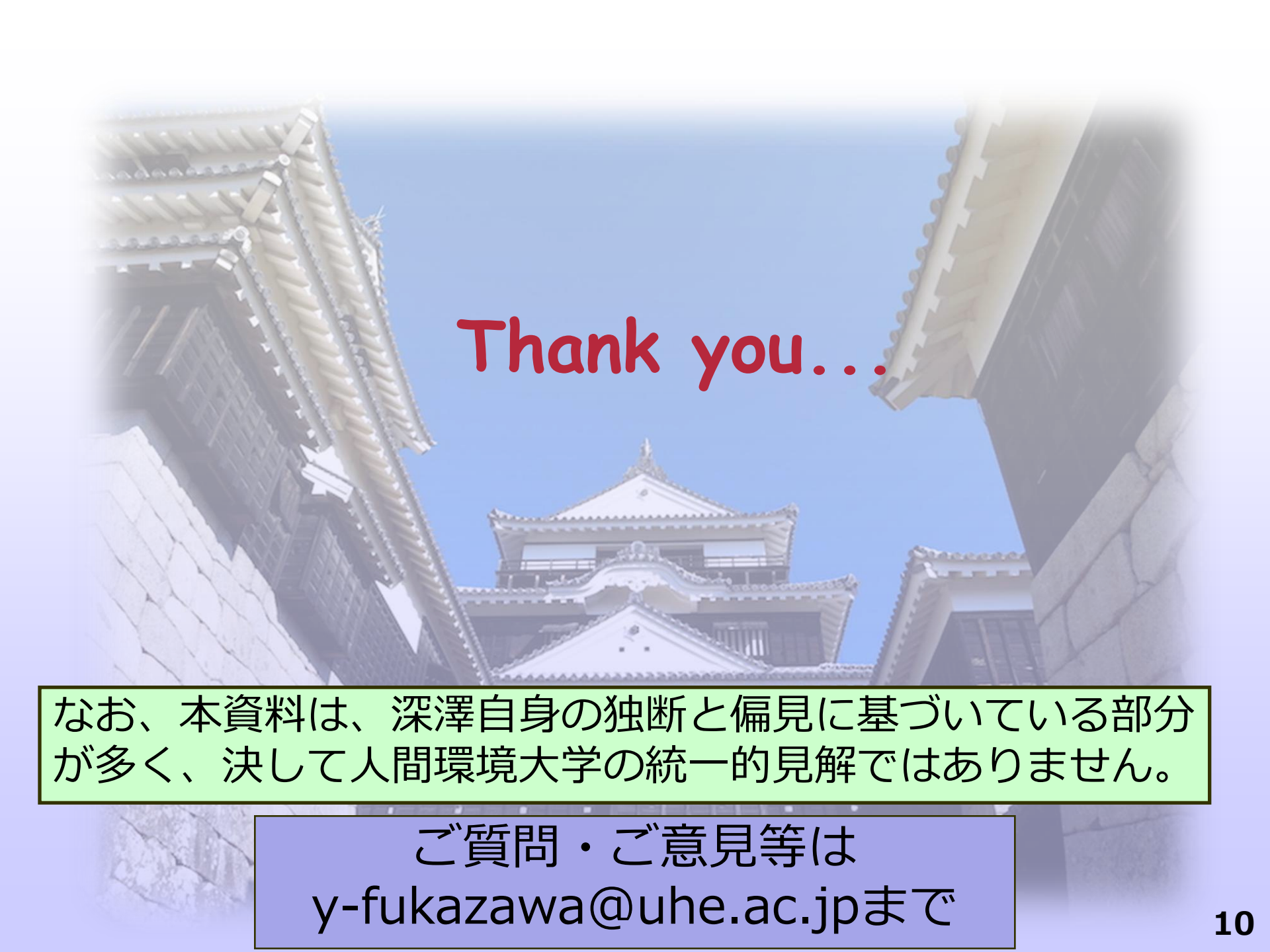
エビデンスをオープンバッジに任せるとす
ると、エンドースメントの問題が残る



健全な第三者評価機関が必要！

NPO実務能力認定機構（ACPA：アクパ）における 認証





Thank you...

なお、本資料は、深澤自身の独断と偏見に基づいている部分が多く、決して人間環境大学の統一的理解ではありません。

ご質問・ご意見等は
y-fukazawa@uhe.ac.jpまで